

源頼政(1104年～1180年)は平安時代後期の武将で歌人、摂津源氏の始祖頼光から5代にあたります。朝廷に仕え、治承2(1178)年、75歳で従三位に叙せられ、以後源三位頼政の名で呼ばれ、翌3年には出家して源三位入道とも呼ばれました。治承4(1180)年の以仁王の挙兵に属し、三井寺から南都興福寺に向かう途中、宇治で平氏軍の追撃を受け、5月26日に平等院で自害しました。

頼政神社

元禄7(1694)年、古河藩主となった松平信輝は、古河城内の頼政郭に、先祖にあたる頼政を祀る頼政神社があることを喜び、同9年に社殿を修理しました。その時、高崎藩主であった信輝の弟松平輝貞は大燈籠を寄進し、高崎に頼政神社を勧請しています。大正元(1912)年、渡良瀬川改修工事のため、旧頼政郭は河川敷となり、頼政神社は錦町の現在地(旧古河城観音寺郭の土居上)に移されました。



▲頼政神社(大燈籠と社殿)

頼政の伝説

『平家物語』巻第四の「鶴」によれば、頼政は宮中で頭は猿、身体は狸、尾は蛇、手足は虎の姿で、鳴く声が鶴、鶴に似ている怪物を退治した事になっていいます。これは頼政の「鶴退治」の話としてよく知られていますが、頼政に関連する伝説は各地に残っています。その一つが頼政神社の由来の話です。頼政が平等院で自害したあと、家来の下河辺三郎行吉が、頼政の首を桶に入れて笈に納め、山伏姿になって諸国を修行し、龍崎(立

崎)の地に着いて笈を置くと、その笈は大石のように重く動かなくなったので、その場所に頼政の首を祀ったのが始まりであると『永享記』という戦記物語に記されています。頼政を祀る神社や頼政塚、頼政の墓・供養塔と呼ばれるものが各地にみられ、さまざまな伝説が付随しています。また、頼政の側室菅浦御前菅浦の前の伝説も各地に確認できます。

歌人頼政

頼政は弓の名手として、鶴退治などの伝説的な逸話がありますが、武家歌人として活躍していたことはあまり知られていません。頼政は多くの和歌を残しています。『詞花集』をはじめ16の勅撰



▲月岡芳年画「大日本名将鑑 源三位頼政 猪早太」

集に58首が撰入され、また家集として『源三位頼政集』があり、687首が収められています。頼政の家系には歌人が多く、先祖の頼光、頼光の子頼家、祖父の頼綱、頼綱の兄弟の頼実、父仲政などが歌人として知られ、さらに頼政の嫡子仲綱も歌人であり、娘の二条院讃岐は百人一首の一人として選ばれています。頼政は一流の歌人たちと交流をもち、歌人として高く評価されていました。

今年、頼政が従三位に叙せられてから840年の節目の年にあたります。また、2年後には没後840年を迎えます。古河市の頼政伝説は各地の伝説のなかでも老舗中の老舗です。この節目の年に頼政を見直してみるのもいいのではないのでしょうか。

三和資料館学芸員 小林靖

【児童書/文学】

わたしのチョコレートフレンズ

嘉成晴香 作

小学5年生の凛太と、隣に越してきた万緒。作家を夢見る万緒は、クラスで仲よしのふたりをモデルにして物語を書いていた。そして、クラスで起きる出来事と、万緒の物語がリンクしはじめ…。

出版社…朝日学生新聞社

【絵本】

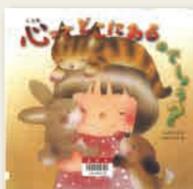
心ってどこにあるのでしょうか？

こんのひとみ 作

心ってどこにあるのでしょうか？好きな人に会うとほっぺが真っ赤になった。心はほっぺにあるのでしょうか…。こんのひとみ&いとようこコンビがあたたかい文と絵でおくる絵本。

出版社…金の星社

図書館の本棚から



とねミドリ館

【一般書/小説】

婚活食堂

山口恵以子 著

元占い師の女将が営む東京・四谷の「めぐみ食堂」には、今宵も常連客が訪れる。バツイチ、歳の差、国際結婚…。さまざまな恋の悩みを抱える男女を優しく包み込むハートフルストーリー。

出版社…PHP研究所

【一般書/演芸】

阿佐ヶ谷姉妹ののほほんふたり暮らし

阿佐ヶ谷姉妹 著

時にいざこざもあるけれど、おおむね楽しく自由に、のんびり暮らしております。女芸人・阿佐ヶ谷姉妹の2人が、地味おもしろ同居生活を綴る。「幻冬舎plus」連載に、書き下ろし恋愛小説2編を加えて単行本化。

出版社…幻冬舎



昭和31年度から昭和53年度まで使用されていた上大野小学校の校舎です。木造1階建ての学舎には多くの児童が通っていました。現在の鉄筋コンクリート造3階建ての校舎では、昔と変わらず児童たちの一生懸命勉強する姿や楽しくおしゃべりする姿が見られます。

古河今昔物語

Time Travel Photograph

